

救命艇の離脱フックと復旧機構に関する SOLAS 条約の改正 SOLAS amendments concerning lifeboat release hooks and retrieval systems

救命艇の安全性に関する正しい方向への第一歩



SOLAS 条約の改正: 救命艇に関する厳格な新安全基準

2010年5月、IMOの海上安全委員会(MSC)は、救命艇の離脱フックと復旧機構に関する SOLAS 条約(海上における人命の安全のための国際条約)の修正条項を採択しました。

MSCは、国際救命設備コード(LSAコード)の新要件に準拠しない救命艇緊急離脱機構を、2014年7月1日以降の最初に予定されている船舶の乾ドックまでに(ただし、遅くとも2019年7月1日までに)交換することを求める SOLAS III 章第1規則5項を新たに採択しました。この改正案は2013年1月1日に発効する予定です。今回の改正は、救命艇の進水時における事故を防止するため、救命艇の離脱・復旧機構に関するさらに厳格な新安全基準を制定することを目的としたものです。

今回の改正案が施行されると、相当な数の救命艇の離脱・復旧機構の評価と交換を行う必要が求められることになるため、MSCでは、救命艇の離脱・復旧機構の評価と交換のガイドラインも採択しました。このガイドラインでは、既存システムの評価については、2013年7月1日までにメーカーが実施することと定められています。製造元のメーカーがなくなってしまうか、サポートを提供していない場合には、他のメーカーまたはシステムに責任を負う他者が評価を行うことが認められます。期日まで

に評価が行われない場合、その離脱・復旧機構は新しい要件を満たしていないものとみなされます。

IMO加盟国は、可能な限り早期に、LSAコードの改正案に準拠する新たな緊急離脱・復旧機構の承認プロセスを開始することが奨励されます。

Gran Newsの過去の記事においても、救命艇の離脱フックと復旧機構に関わる安全性の問題を何度か取り上げてきましたので¹、今回の改正は、前向きな取り組みとして評価できます。

Gardでは、今回の改正条項が実施されることで、救命艇の落下問題が大きく減少するものと期待しています。

詳細については、IMOウェブサイト

www.imo.org/MediaCentre/MeetingSummaries/MSC/Pages/MSC-89th-session.aspx

または、DNVウェブサイト

www.dnv.com/industry/maritime/publicationsanddownloads/publications/newsletters/technical_regulatory/2011/imomaritimesafetycommittee89thsession20may2011lifeboatreleaseandretrievalsystems.asp をご覧ください。

¹ Gard News 146号「Totally enclosed lifeboats」、「Lifeboat accidents」、Gard News 154号「P&I incidents – Offshore personal injury」、Gard News 164号「Industry investigation into lifeboat safety」、Gard News 183号「A 20-year anniversary – The loss of lives in lifeboats with on-load release hooks」、「Twelve men in a boat」、「The end of a musical career」、「A fatal rescue operation」、Gard News 184号「Letter to the Editor – Lifeboat accidents」、Gard News 189号「Gard Academy conference on lifeboat hooks」、Gard News 191号「When safety matters – The invisible human misery」